

2020年度後期 講義概要

授業科目名	哲学特論					
主担当教員名	◎[哲学] 室寺義仁					
配当学年 等	医学科1年 後期 「必修」対面授業					
学習目標	受講生は、それぞれの興味と関心、あるいは、好奇心にしたがって、古えの哲人・賢人たちが残した言葉に出会い、人類の叡智が辿り着いた思索の深みを学ぶことを通じて、自分自身の思考能力に新たな広がりとしなやかさを身につける。					
授業概要	「人を愛する」ことについて、アリストテレスの「友愛」、キリスト教の「無償の愛」「神愛」、儒教の「仁愛」、墨子の「兼愛」、そして、仏教の「大悲」など、これらの観方をそれぞれ旗印とするような人間観の視座から、多様な「愛」の形についての思潮を考察します。医療の原点は「人を愛する」ことにあるからです。この学びの過程で、受講生各自が、様々な「愛」の形、そして、日本の精神文化における「悲しみ」の形について、思索を繰り返し深めて行く習慣性を身に付けることを目指します。					
授業内容	神との契約の中に人間を観る思潮、多神への祈りの許に人と人とのつながりの関係性に人間を観る思潮、あるいは、神なきところで人と生き物一般との関係性の中に人間を観る思潮など、古典文献（の邦語訳）を参照しながら、仏教哲学を根幹に見据えつつ概説します。					
年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	課題	授業形式
令和2年10月6日(火)	2時限	室寺 義仁	ガイダンス	「人を愛する」こと、特にアリストテレスの説く「友愛」と愛の三つの形について	有	対面
令和2年10月13日(火)	2時限	室寺 義仁	西洋の近代思想	エーリッヒ・フロムの「愛の技術」ほか	有	対面
令和2年10月20日(火)	2時限	室寺 義仁	インドの哲学(1)	古典インドの神秘哲学 —「アートマンへの愛着」(究極的自己愛)	無	対面
令和2年10月27日(火)	2時限	室寺 義仁	インドの哲学(2)	縁起観 —ものごとの成り立ちの観方	有	対面
令和2年11月10日(火)	2時限	室寺 義仁	中国の思想(1)	「仁愛」という孔子の教え	有	対面
令和2年11月17日(火)	2時限	室寺 義仁	中国の思想(2)	孟子による「惻隱の心」としての「仁」	無	対面
令和2年11月24日(火)	2時限	室寺 義仁	中国の思想(3)	「仁愛」と、「兼愛」という墨子の教え	有	対面
令和2年12月1日(火)	2時限	室寺 義仁	アブラハムの宗教(1)	アブラハムの宗教について	無	対面
令和2年12月8日(火)	2時限	室寺 義仁	アブラハムの宗教(2)	キリストの教えとしての「無償の愛」と「神愛」	有	対面
令和2年12月22日(火)	2時限	室寺 義仁	アブラハムの宗教(3)	「黄金律」と「忠恕」の心 —「良心」と「真心」について	有	対面
令和3年1月5日(火)	2時限	室寺 義仁	「悲しみ」の哲学(1)	『万葉集』(巻5)の憶良の歌から学ぶ —「子を愛(うつく)しむ心」	有	対面
令和3年1月12日(火)	2時限	室寺 義仁	「悲しみ」の哲学(2)	「愛」という漢字と和訓 — かなしむ、いとおしむ	無	対面
令和3年1月19日(火)	2時限	室寺 義仁	「悲しみ」の哲学(3)	現代日本の詩人・大岡信の「死生観」から学ぶ	有	対面
令和3年1月26日(火)	2時限	室寺 義仁	「死」の哲学	死者と弔い	無	対面
令和3年2月2日(火)	2時限	室寺 義仁	まとめ	日本の精神文化と愛の形	有	対面
授業形式・ 視聴覚機器の利用	講義形式					

<p>評価方法</p>	<p>講義で取り上げた主要テーマごとに、コメント（を出席票で、あるいは、WebClassの所定の画面から）の提出を求めます（5点満点評価）。このコメントについて、50%評価、学期末のレポートを、50%の評価として、成績評価を行います。</p> <p>レポート（あるいは、コメント）の提出は、WebClassの所定の画面から行って下さい。</p> <p>対面での授業実数の3分の2を超える出席回数が認められることを前提とします（事情により出席できなかった場合は、WebClassからの授業コメントの提出をもって出席に数えます）。</p>
<p>教科書・参考文献</p>	<p>指定テキストはありません。</p> <p>授業の中で参考図書などについて紹介する予定です。</p>
<p>学生へのメッセージ</p>	<p>哲学は、「知」を愛する愛知学です。どのような「知」の形へと造り為して行くのか／造り為したいのか、この授業を受講しながら、皆さんなりに考えを深めて下さい。</p>